

にしおSDGsアクションプラン

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



令和5年3月

西尾市

目 次

策定趣旨	- 1 -
持続可能な開発とは.....	- 1 -
アクションプラン体系図	- 2 -
にしおSDGsロゴマーク	- 3 -
持続可能な開発目標（SDGs）	- 4 -
SDGs 3階層	- 5 -
SDGs 推進の重要な視点.....	- 6 -
市民アンケート結果.....	- 7 -
2030年のあるべき姿.....	- 8 -
17のゴール ～わたしたちにもできるSDGs～	- 10 -
西尾市の今後の取組.....	- 28 -
SDGsのゴール・ターゲット	- 38 -

策定趣旨

2015年9月、国連サミットにおいて採択された持続可能な開発のための2030アジェンダの中で、地球規模のさまざまな課題を克服し、「誰一人取り残さない」よりよい世界を実現するため、

「持続可能な開発目標＝Sustainable Development Goals(SDGs)」として「17の目標」と「169のターゲット」が掲げられました(38～40頁参照)。「17の目標」は、世界中すべての人に関わるもので、すべての人が「自分ごと」として捉え、主体的に参加しなければ、環境問題や貧困・格差などの課題はより深刻化してしまいます。「誰一人取り残さない」未来を叶えるには、国際社会だけでなく、国内や地域社会、さらに一人ひとりの協力が欠かせません。

また、SDGsの「誰一人取り残さない」という理念は、今後10年間におけるまちづくりの羅針盤として、本市が令和4年12月に策定した「にしお未来創造ビジョン(第8次西尾市総合計画)」における「心の豊かさや人とのつながり」、「多様な主体の活躍」、「官民連携」、「あるものを生かす」まちづくりの視点や、将来都市像の「もっとワクワクするまちにしお」の考え方に通ずるものがあります。

西尾市として市民や事業者などさまざまなステークホルダー(利害関係者)と連携を図り、SDGsを推進する機運を醸成するため、西尾市版ローカルSDGsの指針となる「にしおSDGsアクションプラン」を策定するものです。

持続可能な開発とは

「持続可能な開発」とは、今だけでなく子ども、孫といった将来の世代まで考えた開発のことです。

持続可能な開発が求められている背景には、人間のこれまでの利益を追求した振る舞いにより、地球がいくつかの点で限界に達していることがあります。

気候変動が進み、産業革命前に比べて世界の気温はすでに1度上昇しています。海面の上昇で国土の一部が水没し、強制移住を余儀なくされている国もあります。また、格差の拡大が不平等感を生み、社会を不安定にする要因になっています。

アクションプラン体系図

本アクションプランは、「にしお未来創造ビジョン(第8次西尾市総合計画)」に掲げた施策をSDGsの視点から再構成し、SDGsを推進する取組を可視化するものです。

市民や地域、企業、団体などの多様なステークホルダーと共に、SDGsの理念や意義を広く共有し、連携を図りながら、環境・社会・経済が調和する取組を推進します。

にしお未来創造ビジョン (第8次西尾市総合計画)

【将来都市像】 もっとワクワクするまち にしお

【まちづくりの視点】 心の豊かさや人とのつながりを感じられるまちづくり
多様な主体が活躍できるまちづくり
官民連携により、ゼロからイチを生み出せるまちづくり
ないものねだりではない、あるものを生かすまちづくり

にしお SDGs アクションプラン

SDGsの達成に向けた取組を可視化

市民や地域、企業、団体などの多様なステークホルダーと共に、
SDGsの理念や意義を広く共有し、連携を図りながら、
環境・社会・経済が調和する取組を推進

にしおSDGs ロゴマーク

西尾市の SDGs の理念やイメージを想起させるオリジナルロゴマークを作成しました。

ロゴマークは、今後の取組を推進するうえでのシンボルとして、本市の SDGs プロジェクトに活用していきます。



コンセプト

市の木である「くすのき」をモチーフに制作しました。

「にしおSDGs」を基盤に、SDGsのゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」が幹となって、各ゴールの達成を目指していく様子を表現しています。

大きな葉・実となっている5つのゴールは、市民アンケートにおける「西尾市において積極的に推進すべきゴール(7頁参照)」であり、市民のみなさまの思いを込めたデザインになっています。

持続可能な開発目標 (SDGs)

SDGsは17の目標とそれぞれの目標には、より具体的な169のターゲットが設定されています。(38~40頁参照)。

■ SDGs 17の目標



ひんこん
貧困をなくそう
まず貧しさで生活に困る人をなくそう



ひと くに ふびょうどう
人や国の不平等をなくそう
人種や生まれた国で差別するのはやめよう



きが
飢餓をゼロに
食べるものがなく空腹に苦しむ人をなくそう



す つづ
住み続けられるまちづくりを
安全で快適なまちづくりをしよう



ひと けんこう ふくし
すべての人に健康と福祉を
みんなが健康で過ごすようにしよう



せきにん せきにん
つくる責任つかう責任
無駄づかいをやめて資源を大切にしよう



しつ たか きょういく
質の高い教育をみんなに
みんなが教育を受けられるようにしよう



きこうへんどう ぐたいてき たいさく
気候変動に具体的な対策を
地球温暖化について考えよう



びょうどう じつげん
ジェンダー平等を実現しよう
男女の違いで差別するのはやめよう



うみ ゆた まも
海の豊かさを守ろう
海を守り海に暮らすすべての命を守ろう



あんぜん みず
安全な水とトイレを世界中に
きれいな水をどこでも使えるようにしよう



りく ゆた まも
陸の豊かさも守ろう
陸を守り陸に暮らすすべての命を守ろう



**エネルギーをみんなに
そしてクリーンに**
環境にやさしいエネルギーを使おう



へいわ こうせい
平和と公正をすべての人に
誰にとっても平和で平等な社会にしよう



はたら
働きがいも経済成長も
やりがいのある仕事をして世界をよくしよう



**パートナーシップで
目標を達成しよう**
目標を達成するためにみんなで協力しよう



さんぎょう きじゅつかくしん
**産業と技術革新の
基盤をつくろう**
新しい技術で産業を発展させよう

SDGs 3階層

SDGsは環境、社会、経済の3階層で構成されており、17の目標は関係の深い階層にそれぞれ振り分けられています。

この3階層では「環境」の上に「社会」「経済」が置かれており、土台となる環境が破壊されれば、社会が不安定になり、経済成長どころではなくなることを示しています。

自然からの恵みによって私たちの社会や経済が支えられていることを改めて認識し、この3階層を「トレードオフ（相容れない）」の関係ではなく、「いかに調和させ、並び立たせるか」という視点で推進することが求められています。

■ SDGs 3階層と17の目標の関係性 (SDGs ウェディングケーキモデル)



出典：Stockholm Resilience Centre

SDGs 推進の重要な視点

SDGs の取組は身近なところでも行われており、一人ひとりの生活のなかに今日からできることが実はたくさんあります。

SDGs 達成に欠かせないのは、みんなの心を一つにすることです。同じゴールを見据え、いろいろな分野の人々が協力すると、世界を、そして西尾市をよりよい方向に動かす大きなちからが生まれます。

みなさんは 2030 年の未来に、どんな社会を残したいですか？地球の未来のために、みなさんの未来のために、みんなで目標を共有して、そこに向かって一人ひとりが「今、できること」を始めましょう。



～ Let's Action!! ～

市民アンケート結果

最近、SDGs という言葉がよくみられるようになりました。
 「みんな、どのくらい、SDGs のことを知っているの？」
 「17 あるゴールのうち、どれに関心が高いのだろう？」
 そんな素朴な疑問を知るために、市民の皆さんに
 アンケートを実施しました。

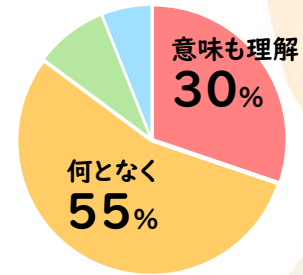
アンケート概要

対象：16歳以上の市民1,000人
 方法：依頼葉書を郵送、Web回答
 時期：令和4年12月
 回収：182票（回収率18.2%）

SDGs の認知度

「8割超の人はSDGsを知っている」

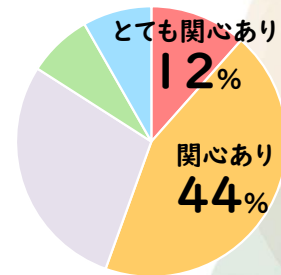
「知っていて、意味も十分理解している」方が30%、
 「知っていて、意味はなんとなく分かる」方が55%と、
 8割超の人はSDGsのことを知っています。



SDGs への関心

「5割超の人はSDGsに関心あり」

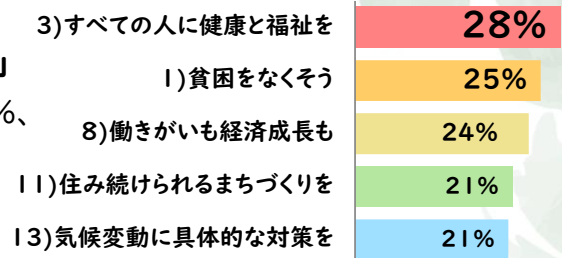
「とても関心がある」方が12%、「関心がある」方が
 44%と、5割超の人はSDGsに関心があります。
 認知度と比べると、3割程度低くなっています。



関心のあるゴール

「『すべての人に健康と福祉を』がトップ」

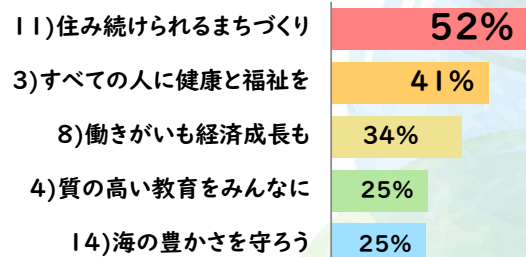
「すべての人に健康と福祉を」がトップで28%、
 以下、「貧困をなくそう」、「働きがいも経済成
 長も」、「住み続けられるまちづくりを」、「気候
 変動に具体的な対策を」と続いています。



市が積極的に推進すべきゴール

「『住み続けられるまちづくり』がトップ」

「住み続けられるまちづくり」がトップで52%、
 以下「すべての人に健康と福祉を」、「働きがいも
 経済成長も」、「質の高い教育をみんなに」、「海の
 豊かさを守ろう」と続いています。



2030年のあるべき姿

「にしお未来創造ビジョン(第8次西尾市総合計画)」に掲げる6つの基本目標と市民アンケート結果を参考に、SDGs推進の方向性と2030年のあるべき姿を設定します。

「にしお未来創造ビジョン(第8次西尾市総合計画)」 基本目標

新たな魅力に挑戦するまち

誰もがほっとする 持続可能なまち

ともに楽しみ、ともに学び、ともに夢見るまち

健康をつなげ 幸せがつながるまち

いのちを守る 暮らしを守る 環境を守るまち

誰もがキラキラと輝き、誇り・愛着の持てるまち



市民アンケート (西尾市において積極的に推進すべきゴール)

- ・ ゴール11 「住み続けられるまちづくりを」(51.9%)
- ・ ゴール3 「すべての人に健康と福祉を」(41.4%)
- ・ ゴール8 「働きがいも経済成長も」(34.3%)
- ・ ゴール4 「質の高い教育をみんなに」(25.4%)
- ・ ゴール14 「海の豊かさを守ろう」(24.9%)

※ 回答率の高い上位5ゴール



2030年のあるべき姿

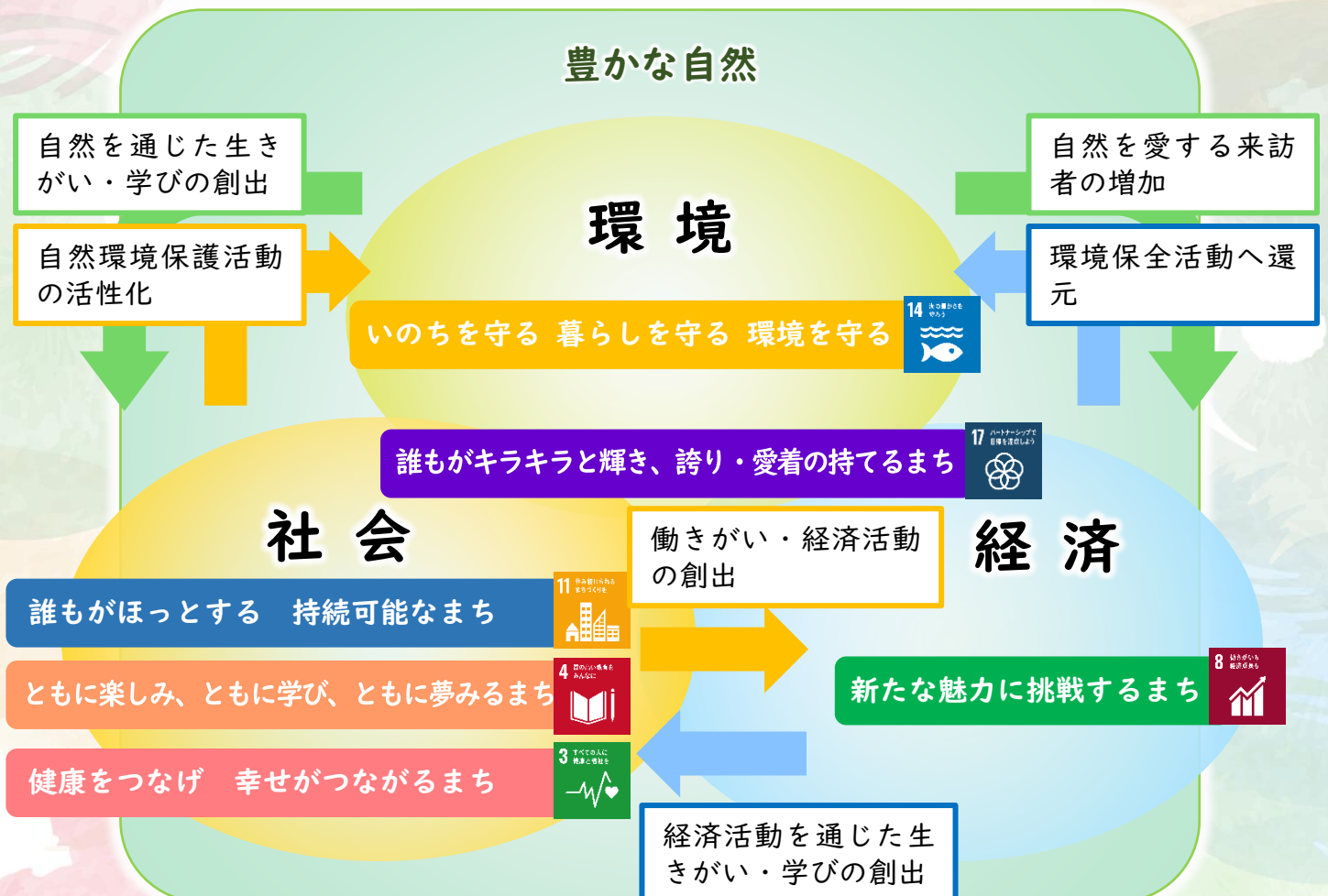
「豊かな自然」を「生きがい」「健康」「学び」「働きがい」につなぐ社会の構築

本市は、東に三ヶ根山などの山々が連なり、西に矢作川が流れ、南は三河湾、佐久島を望む豊かな自然を有しており、人々は、肥沃な土地と温暖な気候から産み出される地域資源を享受し、生きがいを感じながら、学び、働き、暮らしてきました。

生きがいを感じることは、生き生きした健やかな人々を増やし、新たな経済活動や環境保護への行動を呼び起こす契機となります。

SDGsの推進にあたって、本市特有の強みである「豊かな自然」を背景に、「生きがい」、「健康」、「学び」、「働きがい」につながる社会を目指します。

■ 環境、社会、経済が循環する、2030年のあるべき姿のイメージ



17のゴール ～わたしたちにもできるSDGs～

ページの見方

次ページ以降、SDGsの17ゴール別に記載しています。
以下に、各ページの見方をご案内します。

項目	記載内容
①SDGsロゴ	SDGsの各17ゴールのロゴ。それぞれ色が違います。
②SDGsゴール	SDGsの各17ゴールの名称と説明です。
③わたしたちにもできるSDGs	各ゴールに貢献できる市民の皆さんが取り組みそうな事例を記載しています。
④西尾でやってるSDGs	行政をはじめ、市内の企業や団体が実施している取組の紹介です。

①



貧困をなくそう

世界の貧困の問題を解決するのは、持続可能な社会を実現するための第一歩です。また、日本国内でも7人に1人の子どもが平均的な暮らしを送ることができない貧困状態であり、身近な支援が求められています。

②

わたしたちにもできるSDGs

使わなくなったものを寄付しよう

使わなくなった絵本やおもちゃ、制服などを寄付することで、すべての子どもたちが笑顔になります。



子どもの支援活動に参加しよう

様々な困難を抱える子どものために、ボランティアによる支援が必要です。取組みを通じ、みんなで子育てを支える優しい社会が実現します。



フェアトレードの商品を購入しよう

発展途上国の立場の弱い生産者に正当な対価を払うフェアトレードの商品を買うことで、生産者の生活向上の助けになります。



④

社会福祉法人くるみ会

不用品を、障がい者の雇用、海外などでの再利用につなげる「もったいないボランティアプロジェクト」と連携し、不用品の寄付を受ける事業所を設立しています。プロジェクトの売り上げの一部はミャンマーの孤児院の子供たちの食費やおやつ、学用品、服など必要な物の寄付にもつながっています。



1 貧困をなくそう



貧困をなくそう

世界の貧困の問題を解決するのは、持続可能な社会を実現するための第一歩です。また、日本国内でも7人に1人の子どもが平均的な暮らしを送ることができない貧困状態であり、身近な支援が求められています。

わたしたちにもできる SDG s

使わなくなったものを寄附しよう

使わなくなった絵本やおもちゃ、制服などを寄附することで、すべての子どもたちが笑顔になります。



子どもの支援活動に参加しよう

さまざまな困難を抱える子どものために、ボランティアによる支援が必要です。取組を通じ、みんなで子育てを支える優しい社会が実現します。



フェアトレードの商品を購入しよう

発展途上国の立場の弱い生産者に正当な対価を払うフェアトレードの商品を買うことで、生産者の生活向上の助けになります。



社会福祉法人くるみ会

不用品を、障害者の雇用、海外などでの再利用につながる「もったいないボランティアプロジェクト」と連携し、不用品の寄附を受ける事業所を設立しています。

プロジェクトの売り上げの一部はミャンマーの孤児院の子どもたちの食費やおやつ、学用品、服など必要な物の寄附にもつながっています。



(出典)社会福祉法人くるみ会 HP

2 飢餓を ゼロに



飢餓をゼロに

飢餓に苦しむ人は、世界で約8億人いるといわれています。飢餓をゼロにするために、持続可能な農業を推進し、食品ロスを減らして、誰もが安全で栄養のある食事がとれることが求められています。

わたしたちにもできる SDGs

子ども食堂の取組を 知ろう

地域の子どもだけでなく、お年寄りまで利用できる食堂です。支援を必要としている人に、子ども食堂の情報を届けましょう。



買い物をする前に 冷蔵庫を確認しよう

食べ物の在庫を確認して、必要な分だけ買しましょう。安くても、すぐに使う予定のない商品は、まとめ買いを避けましょう。



毎日食べる食品の 産地や生産方法を チェックしよう

食品の産地や生産方法を調べ、国産の商品を選ぶことで、日本の農業が活気づき、食料自給率のアップにつながります。

日本の食料
自給率



子ども食堂（市の取組）

地域のボランティアが子どもたちに無料または安価で栄養のある食事を提供する場で、子どもや親子連れに限らず、地域の方も気軽に利用できます。昨今では、地域における「子どもの居場所」としても期待されています。



3 すべての人に健康と福祉を



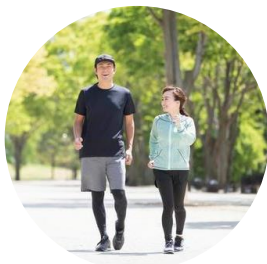
すべての人に健康と福祉を

がんや心疾患などで死亡する人が多く、食生活や運動習慣などの生活習慣を見直すことで、その原因となるリスクが下がります。また、高齢化が進み、自立した日常生活を送れる「健康寿命」を延ばすための取組も求められています。

わたしたちにもできる SDGs

生活習慣に気をつけて、病気を未然に防ごう

食生活に気をつけたり、体を動かして、生活習慣病にかからないようにしましょう。



健康診断、検診を定期的に受けよう

市や会社での健康診断やがん検診を受け、病気の早期発見・早期治療につなげるようにしましょう。



地域のお年寄りを見守ろう

日本では、一人暮らしのお年寄りの社会的孤立が問題になっています。日頃から挨拶をし合うなど、もしものときに気づける関係性を築きましょう。



健康にしおマイレージ（市の取組）

健康づくりを応援するため、平成 27 年度から開始した事業です。健診(検診)の受診、食事や運動などの健康づくりの実践、健康教室などに参加することでポイントをためることができ、ポイント到達者全員に、県内の協力店で特典が受けられる「まいか」を交付するほか、抽選で景品が当たります。



4 質の高い教育を みんなに



質の高い教育をみんなに

教育は、わたしたちの未来のためにとっても大切です。学校の中だけでなく家庭や地域などの社会と協力して学ぶ機会を増やすことで、SDGsを実現するためのさまざまなアイデアが見つかるかもしれません。

わたしたちにもできる SDGs

地域の講座や勉強会 に参加してみよう

興味がある学びの情報について広報紙やインターネットで探して、参加してみましょう。



図書館で日本や世界の 現状を調べよう

図書館は誰もが利用できる知識の宝庫です。日本や世界では現在どのような問題が起こっているのか調べてみましょう。



地域について学び、 よさを実感しよう

地域の自然や歴史・文化、ゆかりの人物などの教育資源を生かした学びを通して、西尾のよさを実感しましょう。



西尾信用金庫

成年年齢の引き下げを踏まえ、若者の金融教育及び金融包摂の重要性の問題意識を高めるため、高校生を対象に「契約と消費者トラブル防止」について金融教育出張授業を行っています。



(画像提供)西尾信用金庫

5 ジェンダー平等を 実現しよう



ジェンダー平等を実現しよう

働き方や家事・育児の分担などにおいて、いまだに固定的な性別役割分担意識が残っており、日本における男女格差を測るジェンダーギャップ指数は、146 か国中 116 位と低い結果となっています。

すべての人が性別にとらわれず、自分らしい活躍の場が選べ、心地よく暮らせる社会を目指しましょう。

わたしたちにもできる SDGs

男女共同参画について学ぼう

市では、市民を対象として男女共同参画セミナーを開催しています。セミナーに参加して男女共同参画を学んでみましょう。



ワークライフバランスを実現させよう

「仕事」「家庭」だけでなく「個人の生活」を含めたバランスの良い生活を心がけましょう。




LGBTQ の理解を深めよう

性はとても多様なもので、そのあり方に正解やルールはありません。お互いの違いを認め、尊重し合うことが大切です。

- L** Lesbian
女性同性愛者
- G** Gay
男性同性愛者
- B** Bisexual
両性愛者
- T** Transgender
身体と心の性が異なる人
- Q** Queer や Questioning
異性愛者、LGBT 以外のさまざまな性的志向・性自認の人 など

西尾市パートナーシップ宣誓制度（市の取組）

一方又は双方が性的マイノリティであるお二人が、継続的な共同生活を約束した関係であることを認めるパートナーシップ宣誓制度を導入しています。

 宣誓番号第 号 パートナーシップ宣誓証明書	この証明書の提示を受けられた方へ
西尾市パートナーシップの宣誓の取扱いに関する要綱に基づき、パートナーシップの宣誓をされたことを証します。	この証明書は、お二人が継続的な共同生活を行っている、又は継続的な共同生活を行うことを約束した、パートナーシップ関係の宣誓をされたことを西尾市が証するものです。法律上の効果が生じるものではありませんが、お互いに人生のパートナーとして支え合い、西尾市でいきいきと活躍されることを期待しています。証明書の提示を受けられた方は、この趣旨を十分にご理解いただきますようお願いいたします。
本人 様 パートナー 様 宣誓日 年 月 日 西尾市長 〇〇〇〇	特記事項

6 安全な水とトイレ を世界中に



安全な水とトイレを世界中に

日本には、安全で衛生的に水を利用できる環境が整っていますが、世界には水質汚染や水不足で苦しむ人々が多くいます。水を大切に使うとともに、きれいな水を育む森林や河川、湖沼などの生態系の保護や回復に力を入れましょう。

わたしたちにもできる SDG s

水を大切に使う

洗濯に残り湯を使う、食器を洗い流すとき以外は水を止めるなど、必要以上の水は使わず節水して、水を大切に使う習慣を身につけましょう。



油などを直接排水溝へ流さないようにしましょう

生活排水の汚れを分解するためには大量の水が必要です。油を拭き取るなどして、排水溝に流す汚水の量を減らしましょう。



干潟生きもの観察会に参加してみよう

子どもから大人まで参加できる干潟生きもの観察会を開催しており、干潟の生きものを観察したり、干潟について深く学ぶことができます。



公益財団法人 矢作川水源基金

昭和53年2月、矢作川水系の20市町村と愛知県が共同で水資源のかん養に重要な役割を果たす森林の保全などを目的に本基金を設立しました。

基金では、水源地の間伐体験、自然観察や木工工作を行っており、水源林の大切さを学ぶことができます。



7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに



エネルギーをみんなにそしてクリーンに

電力は私たちの生活を豊かにすると同時に、排出される温室効果ガスによって地球環境に重大な問題を起こします。電力の無駄づかいをやめる省エネを意識した生活を心がけましょう。

わたしたちにもできる SDGs

電気のオン/オフ、 コンセントを抜く

使っていない電化製品はコンセントを抜くことで、待機電力を節電できます。また、必要のない電気を消し、無駄を省きましょう。



買い替えの際には 省エネ製品を選ぼう

電球を LED に替える、家電の買い替えの際に消費電力が少ないものを選ぶことで、電気使用量の節約につながります。



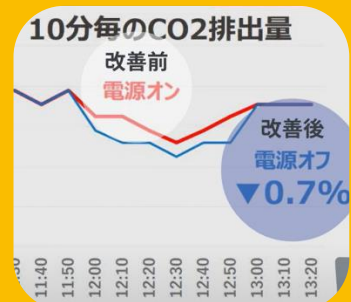
再生可能エネルギー を活用しよう

太陽光発電は、家庭でも導入できる再生可能エネルギーです。市では太陽光発電などの設備を設置する方に補助金を交付しています。



旭鉄工株式会社

自社開発 IoT システムにて、工場の製造ラインの稼働状況と CO2 排出量（電力消費量）を同時に把握。製造に使えていない「ムダな電力消費量」をリアルタイムでグラフ化。省エネ改善を効率的に進めています。旭鉄工ではたった 1 年で 7%、2013 年比で 22%もの電力消費量削減を実現済です。



(出典)旭鉄工株式会社 YouTube

8 働きがいも 経済成長も



働きがいも経済成長も

持続可能な経済成長のためには、生産性を高めた産業の拡大と、働きがいのある人間らしい雇用(ディーセントワーク)の推進が不可欠です。また、ワークライフバランスを考えた職場環境の改善も重要です。

わたしたちにもできる SDGs

生産性の向上・残業時間の削減に取り組もう

今まで人力で行ってきたことの一部を、ICTなどのテクノロジーに任せることで、生産性の向上や残業時間の削減を実現しましょう。



テレワーク・ワーケーションを積極的に導入しよう

時間と場所にとらわれない柔軟な働き方ができる、テレワークやワーケーションを取り入れ、ワークライフバランスを向上させましょう。



誰もが働ける社会をつくろう

近年、障害者の働く場の拡大により、活躍の幅も広がってきています。地域で多様な人が活躍できる環境づくりに努めましょう。



中部電力株式会社

社会的に就労が十分進んでいない重度身体障害者と知的障害者の雇用促進を目的に、100%出資の特例子会社「中電ウイング」を設立し、生き生きと就労できる場を創出するため、県内などで新規事業の開拓や拠点の拡大に取り組んでいます。



(出典)中電ウイング株式会社 HP

9 産業と技術革新の 基盤をつくろう



産業と技術革新の基盤をつくろう

みんなが幸せで、豊かに暮らせる世界をつくるには、さまざまな産業が発展していくことが必要です。経済成長には、電気やガス、水道、道路といったインフラや新しい技術を生み出す技術革新へ力を注ぐことが不可欠です。

わたしたちにもできる SDG s

地場産業を応援 しよう

抹茶、花き、うなぎなど、地元の産品や地元で作られた商品を買うことは地元の農家や産業の応援になります。



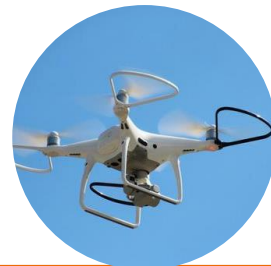
自分たちの生活を 支えるインフラ設備 を理解しよう

水道水はどこからきているのかなど、普段何気なく使用しているインフラについて知ることは大切です。



西尾発の産業革新に 取り組もう

AI やドローンの活用などによる農業・漁業、企業のDXへの取組が、持続可能な産業の実現につながります。



西三河農業協同組合

J A西三河キュウリ部会では、ハウスに測定機器を設置してハウス内環境や植物体情報をデータ化することで環境制御を最適化し、収穫量の向上と農業経営の高度化を実現する「スマート農業」の実現を目指しています。



(出典)西三河農業協同組合 HP

10 人や国の不平等をなくそう



人や国の不平等をなくそう

貧富の格差拡大のほか、人種や民族、性別や年齢、出身や障害などによる差別が問題となっています。誰もが平等に権利を持ち、みんなで支え合う社会を目指しましょう。

わたしたちにもできる SDG s

手話や音読、点字などに興味を持ち学んでみよう

手話や音読、点字を学び、実践することで交流の幅が広がります。市では、手話言語条例を制定するなど、共生社会の実現を目指しています。



助けが必要な人を見かけたら積極的にサポートしよう

お年寄りや子ども、心身の不自由な人や体調不良の方など、困っているときには積極的に声をかけ、助け合える社会にしていきたいです。



お互いの違いを認め、理解し合える社会にしよう

世界の国、人種、宗教、性別、文化、考え方の違いを知り、認め合うことで不要な争いやすれ違いを避けることができます。



多文化ルーム KIBOU(きぼう) (市の取組)

外国にルーツを持つ子ども(5~18歳)の就学支援につながるさまざまな取組をするプレスクールとして設置しています。

日本語教室、子どもの母語教室、多言語サポート、就学説明会などを行っています。



11 住み続けられる まちづくりを



住み続けられるまちづくりを

子どもや女性、障害を持つ人々や高齢者など、誰もが安心していつまでも住み続けたいまちの実現を目指し、災害に強く環境に配慮したまちづくりを行きましょう。

わたしたちにもできる SDGs

地域のまちづくり 活動に参加しよう

「にしお市民活動情報サイト」では、市内で活動する団体やイベント・講座、ボランティアなどの情報を公開しています。



地域の行事に 参加しよう

地域行事の参加は、子どもたちの交流の場をつくるだけでなく、文化や取組を次世代に引き継ぐ役割を持っています。



災害に強いまちづく りを進めよう

災害への対策は、地域ぐるみの協力が不可欠です。ルールを守り、助け合い、住み続けたいまちづくりに取り組んでいきましょう。



西尾市防災マスコットキャラクター
「ぼうさいくん」

市民が主役のまちづくり推進（市の取組）

市政に対する市民のニーズやまちの課題に対する意見・提案などを的確に把握するため、市長と直接対話できる「市長と語る市政懇談会」や「学生議会」などを開催し、市民が主役のまちづくりに生かしています。



高校生とのまちづくりトーク

13 気候変動に 具体的な対策を



気候変動に具体的な対策を

二酸化炭素などの温室効果ガスの増加による地球温暖化や、地震や津波、台風などの自然災害によって、毎年大きな被害がでています。世界の国々が協力して温暖化防止や災害対策に取り組むことが必要です。

わたしたちにもできる SDGs

脱炭素化に取り組もう

毎日の移動を環境負荷の高いマイカーから、公共交通機関や徒歩、自転車などの負荷の少ない方法に置き換えることで、二酸化炭素の排出を抑制できます。



森と里山を守ろう

森林は、光合成で二酸化炭素を吸収し、酸素を作り出すことから、地球温暖化の防止に貢献しています。保全活動に参加しましょう。



クールビズ・ウォームビズを实践しよう

気候に合わせたクールビズやウォームビズを行い、冷暖房の過度の使用を抑えるように心がけましょう。



榊原工業株式会社

省エネ法(エネルギーの使用の合理化等に関する法律)によるエネルギー消費量削減の努力目標達成に向け、工場内照明のLED化や、古いエアコンの交換、機械の電力使用状況把握による無駄の削減に取り組んでいます。



(出典)榊原工業株式会社 HP

14 海の豊かさを 守ろう



海の豊かさを守ろう

海洋ごみや汚染、漁業資源の乱獲によって海と沿岸の生態系が危機にさらされています。魚介類などの水産資源に影響のある生態系の回復のための活動や環境保全活動に積極的に参加しましょう。

わたしたちにもできる SDGs

地域の清掃活動や河川・海岸清掃に参加しよう

佐久島では、ビンゴカードを使用して楽しくごみ拾いができる清掃活動に取り組んでいます。



藻場の再生活動に参加しよう

佐久島では、魚の隠れ処や産卵場所になるアマモ場の再生活動に取り組んでいます。



マイバッグやマイボトルを持ち歩こう

海洋汚染の大きな原因となっているプラスチックごみ。マイバッグやマイボトルなどの利用によって、新たなごみの排出を防げます。



株式会社エムアイシーグループ

マイクロプラスチックによる海洋汚染を防止するため、プラスチック製ファイルではない紙製のファイルを商品化。表面に凹凸や光沢を付けて立体感・高級感を出し紙製なのに中身が見える「擬似エンボス紙ファイル(クリア)」を販売し顧客のSDGs推進をサポートしています。「人にも地球にも配慮した新しい印刷会社」を目指して取り組んでいます。



擬似エンボス紙ファイル(クリア)
(出典)株式会社エムアイシーグループ HP

15 陸の豊かさも 守ろう



陸の豊かさも守ろう

きれいな水と空気をつくり、多様な生き物を育む森林や里山は、人口減少や高齢化が進み、人の手入れが行き届かなくなってきたことで危機に瀕しています。一人ひとりが自然環境の保全を意識し、できることから始めましょう。

わたしたちにもできる SDGs

環境学習講座に参加 しよう

いきものふれあいの里、クリーンセンターなどで、子どもや保護者などを対象に自然・環境を学ぶ環境学習講座を実施しています。



里山の保全活動に 参加しよう

佐久島では、落葉樹に当たる日光を遮る雑木の除伐や里路の整備などの里山保全活動に取り組んでいます。



木材を積極的に 活用・購入しよう

市では、公共施設の備品に県産材の利用を推進しており、県産材を利用した木製品整備のため寄附を募っています。



生物多様性あいち学生プロジェクト GAIA

さまざまな学校や専門、学年の垣根を超えて、大学生などを中心に生物多様性保全に取り組む、県の学生組織です。西尾市では、愛知こどもの国での竹林整備を兼ねたタケノコほりや現地で見られる生物を題材としたクイズで楽しく学べるスタンプラリー、佐久島での海岸清掃、藻場再生などの活動を行っています。



(出典)GAIA HP

16 平和と公正を すべての人に



平和と公正をすべての人に

世界には戦争や紛争、暴力によって生活や命を脅かされる人々があります。平和で安心して暮らせる社会の実現には、誰もが法によって平等に守られる社会をつくることが重要です。

わたしたちにもできる SDGs

平和について学ぼう

世界で起きている戦争や紛争、歴史について調べて話し合うことで、平和について学びましょう。



子どもたちを暴力や 犯罪から守ろう

日頃から見守りや声掛けを行うなど、地域全体で子どもの成長をサポートしていくことも必要です。



政治の役割に ついて考えよう

選挙に参加し、政策や理念に賛成できる人に投票して、自分の意見を政治に届けるようにしましょう。



西尾警察署

さまざまな国の人が安心して暮らせる多文化共生を推進するため、来日して間もない子どもを対象とした、多言語交通安全教室を実施しています。教室は自転車の乗り方、信号の見方、横断歩道の渡り方をやさしい日本語で話し、5か国語での同時通訳も行われます。



(出典)愛知県警察 HP

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



パートナーシップで目標を達成しよう

SDGs の達成に向けて、国や企業、自治体、市民など、さまざまな団体や個人が連携し、それぞれの強みを生かして行動を起こしましょう。

わたしたちにもできる SDGs

西尾市全体で SDGs に取り組もう

2030 年がどんな社会であってほしいか考えてみましょう。できることやアイデアが浮かんだら、家族や友だち、地域の人たちと話して、一緒に行動していきましょう。



企業の SDGs への取 組を応援しよう

商品・サービスを購入・利用する際に、SDGs に取り組む企業を選ぶことで、企業を応援することができます。



学んだこと、考えたこ とを発信していこう

SDGs について学んだこと、気づいたことを普段のコミュニケーションや SNS を通じて発信し、みんなで共有しましょう。



にしお SDGs パートナー制度(仮称) (市の取組)

西尾市と連携して取り組む企業、団体などにパートナー登録を促し、共創により SDGs を推進します。



にしお SDGs ロゴマーク

西尾市の今後の取組

2030年のあるべき姿である

「豊かな自然」を「生きがい」「健康」「学び」「働き

を実現し、2030年に「ワクワク」でき、夢や希望を持てる躍動感にパートナーシップの形成につなげていきます。本アクションプランでは、「市民がSDGsに関心をもち積極的に関与してもらうこと」「SDGsの2つの指標を設定し、取組を推進します。

指標1

SDGs への関心度

「SDGs に対する関心はどの程度ですか」との問いに「とても関心がある」又は「関心がある」と回答した市民割合



関連する SDGs ゴール

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



現状値

55.5%
(2022 年度)

目標値

90%
(2030 年度)

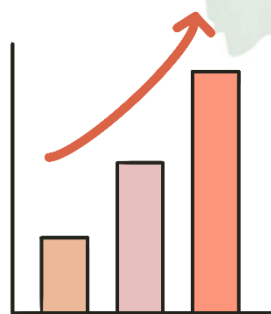
「がい」につなぐ社会の構築

満ちたまちを実現する、という目標をみんなで共有し、幅広い位置づけた施策の効果を図る指標として、
推進に向け幅広いパートナーシップで進めること」

指標 2

にしお SDGs パートナー(仮称)登録件数

市が認証する SDGs パートナーの累計登録件数



関連する SDGs ゴール

17 パートナーシップで
目標を達成しよう








現状値

0 団体
(2022 年度)

目標値

80 団体
(2030 年度)

環境

目標	豊かな自然を守り、やさしく暮らす		
	持続可能な社会の実現を支える重要な基盤であり、さまざまな恵みをもたらしてくれる、本市の豊かな自然を守り、市民が安心して自然や環境にやさしい暮らしを送るようになる。		
ゴール	指標		
	指標名	現状値	目標値
 13 気候変動に具体的な対策を	公共施設から排出される二酸化炭素削減量 公共施設の LED 化による二酸化炭素の累計削減量	195 [†] -CO ₂ (2022 年度)	9,614 [†] -CO ₂ (2032 年度)
 13 気候変動に具体的な対策を	水位計・監視カメラの設置数 市管理河川における水位計・監視カメラの累計設置数	0 箇所 (2022 年度)	6 箇所 (2032 年度)
 14 海の豊かさを守ろう	外来種駆除活動参加者数(年間)	65 人 (2019 年度)	130 人 (2032 年度)
 15 陸の豊かさを守ろう			
 13 気候変動に具体的な対策を	低公害車購入補助件数 (年間)	42 件 (2020 年度)	75 件 (2032 年度)

具体的取組

(自然の恵みを守る)





取組	概要
○ 里山保全活動	里山の雑木の除伐や周辺を整備し、里山の自然環境と生物多様性の保全を図ります。
○ 三河湾の環境保全	干潟の保全や水質汚濁の防止、漂着ごみ対策の推進など、三河湾の環境保全を推進します。
○ 藻場の再生活動	しおさい学校(佐久島中学校)の総合学習として、島外のボランティアとも協働しアマモを増やして藻場を再生する活動を実施します。

(環境にやさしい暮らしを送る)

取組	概要
○ 環境にやさしいライフスタイルの実現	省エネ・省資源の普及啓発を行うなど市民意識を高めるとともに、低公害車の購入を補助し、省エネ・温室効果ガスの排出抑制を推進します。
○ ゼロカーボンの推進	公共施設において、LED照明や再生可能エネルギーの導入などを検討するとともに、グリーンカーボン・ブルーカーボンの取組を推進します。
○ ごみの減量・資源化	食品ロスの削減を推進し、生ごみ減量のためにぼかしの無料配布を実施します。
○ 再生可能エネルギーの利用促進	新たなエネルギーの利用を図るため、一般家庭への太陽光発電設備の普及を促進します。
○ 家並み保存活動	佐久島では島内外のボランティアと協働し、板壁へのペンキ塗りによる家並みの保存活動を実施します。
○ 治水安全度の向上	河川のリアルタイムの水位情報や映像情報を発信します。



社会

目 標	新たな試みに挑戦する人が活躍できるまちをつくる 新たな学びや試みに挑戦しようとする人を支援し、生きがいをもって活躍できるまちをつくる。		
	指 標		
ゴール	指 標 名	現状値	目標値
 4 質の高い教育を みんなに	市民の居場所の数 「6つの場（自分の部屋/家庭/学校/職場/地域/インターネット空間）」のうち居場所と思う数が3つ以上と回答した人の割合	85% (2022年度)	90% (2027年度)
 11 住み続けられる まちづくりを	外国人の町内会活動 町内会活動に外国人が参加している町内会割合	25% (2021年度)	40% (2032年度)
 5 ジェンダー平等を 実現しよう	女性活躍推進法・次世代育成支援対策法に基づく認証・登録企業数(年間)	65 社 (2021年度)	75 社 (2032年度)
 11 住み続けられる まちづくりを	子ども・若者相談総合センター「コンパス」が行う居場所支援の延利用者数(年間)	300 人 (2021年度)	550 人 (2032年度)

具体的取組

(活躍する人・できる人をつくる)

取 組	概 要
○ にしお SDGs パートナーシップ制度(仮称)	西尾市と連携して取り組む企業、団体などにパートナー登録を促し、共創により SDGs を推進します。
○ 全庁的に女性活躍を推進	女性の採用試験受験者の拡大や女性管理職の比率を高めて、職場での女性活躍を推進します。
○ 消防の女性受入体制の整備	消防施設などについて、女性用の仮眠室・トイレなど、環境整備を行います。
○ 書かない窓口システム	マイナンバーカードを活用して、窓口での手続きの簡略化や効率化を図ります。

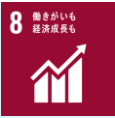



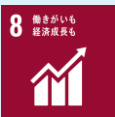
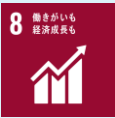
取組	概要
○ eスポーツの推進	年齢・国籍・時間・場所・障害の有無を問わず誰でも参加できるeスポーツを活用し、多文化共生の推進、高齢者の健康増進、障害者スポーツの促進を図り、誰もが暮らしやすいまちづくりを推進します。
○ 利用者の視点に立った生涯学習施設の運営	施設名称、利用方法を統一し、分かりやすい施設に見直します。また、利用者を増やすため、利用対象を市内外の個人や団体に拡大します。

(みんなの居場所をつくる)

取組	概要
○ あらゆる市民に対応した居場所づくり	あらゆる市民が、孤独や孤立などの悩みを相談できる体制の整備や人材育成に努め、個性を生かしながら、助け合うきっかけができる居場所をつくります。
○ 多文化に対応した居場所づくり	文化や言葉の違いなどにより、地域になじむことができず、孤独な思いを抱えている人が交流できる居場所をつくるとともに、学校や社会に早期に適応するため、日本語教室を核とした居場所をつくります。
○ 多分野が連携した居場所づくり	西三河農業協同組合と愛知県立にしお特別支援学校の連携を皮切りに、農業を通じた障害者の自立支援に取り組むとともに、農業と高齢者や子どもなど、幅広い分野での連携を検討します。 担い手不足や高齢化が進む農業分野において、新たな働き手の確保にもつなげます。



経済

目標	指標		
	指標名	現状値	目標値
豊かな自然を生かした、生きがい・働きがいをつくる 自然を身近に感じてふるさと西尾に愛着や誇りをもてるようにするとともに、豊かな自然を生かした魅力ある働く場をつくり、生きがい・働きがいのあるまちをつくる			
 8 生きがいも経済成長も	企業立地件数	6社	6社
	 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	企業立地の年間件数	(2021年度)
 8 生きがいも経済成長も	創業者数	21人	25人
	 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	5者（西尾信用金庫、西尾商工会議所、一色町商工会、西尾みなみ商工会、西尾市）連携事業で創業相談に来た方のうち、創業した年間人数	(2021年度)
 8 生きがいも経済成長も	フィルムコミッションによる撮影誘致数	0件	30件
	西尾市フィルムコミッションによる年間の撮影誘致数	(2021年度)	(2031年度)
 8 生きがいも経済成長も	ふるさと納税の納税額	15億円	27億円
	年間のふるさと納税の納税額	(2021年度)	(2032年度)

具体的取組

(生きがい・働きがいをつくる)

取組	概要
○ 特産品の開発	佐久島では遊休農地を活用してサツマイモを栽培し「サクのいも」としてブランド化、焼酎をはじめ醸造して島ならではの土産を開発します。
○ 文化財や特産品などを活用した地域力創出	市内の文化財や抹茶、うなぎなどの特産品を活用し、観光振興や文化振興を図る事業を創生・推進します。

取 組	概 要
○ 農福連携	西三河農業協同組合や愛知県立にしお特別支援学校と連携し、農業を通じた障害者の自立支援に取り組むとともに、農業分野の新たな働き手の確保を図ります。
○ 西尾発の産業革新	市内事業者のDXを積極的に支援し、企業の生産性向上や、農業・漁業へのテクノロジー活用、多様なサービス・事業創出をサポートします。積極的に官民連携を推進し、デジタル技術の活用により本市の個性を生かしながら、産業振興とまちの発展向上に取り組めます。
○ 建築確認事前調査事務の効率化	建築確認申請に係る事業者負担の軽減と内部事務の効率化を図ります。
○ 育てる漁業	稚貝や稚魚の放流などにより資源を管理し、「獲る漁業」から「育てる漁業」への転換と海域の環境整備を支援します。
○ 環境にやさしい農業	持続可能な農業を推進するため、二酸化炭素排出量を削減するなど環境にやさしい農業と、堆肥と飼料の地域での循環型農業の推進のため、耕畜連携を支援します。
○ 地産地消の推進	教育ファーム事業など食に関わる体験を通じて、食の大切さや地域の農畜水産物に対する愛着や誇りの醸成を図ります。
○ 自然を生かした魅力空間の創出	魅力あふれる自然環境を生かし、誰もが楽しめる・使える・つながる・学べる空間の創出を図ります。空間の創出に併せ、自然体験アクティビティや環境学習講座の開発・提供・利用のルール化なども検討します。
○ カラフルツーリズムの展開	農業や漁業体験を楽しみ、地域住民との交流を図るグリーンツーリズムや、島しょ部や沿岸部に滞在し、マリンレジャーを楽しめるブルーツーリズム、健康の回復や健康増進を図るヘルスツーリズムなどさまざまなツーリズムを展開します。
○ 攻めの企業誘致	雇用や付加価値額において、西尾市の産業基盤を大きく支える製造業を誘致するため、立地に向けた伴走支援を行い、市内企業の留置と市外企業の誘致を積極的に実施します。
○ 起業・創業・新産業創出の支援	SDGsなどの社会課題への対応やテクノロジーの変化などにより、大きく変わる産業構造やライフスタイルに対し、世の中に新しい価値を提供する新産業の創出や、起業・創業を支援します。
○ フィルムコミッションの推進	自然豊かな景観を背景に、フィルムコミッションによる映像作品のロケの撮影誘致を推進し、ロケツーリズムなどによる新たな観光交流の創出やシビックプライドの醸成による地域活性化を図ります。
○ ふるさと納税の推進	うなぎや抹茶など市内に多くある特産品の魅力を積極的にPRし、地場産業の活性化と関係人口の創出を図ります。ひいては、ふるさと納税の推進が、持続可能な産業の形成につながります。

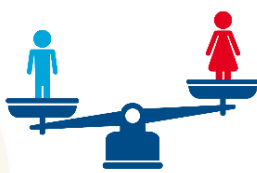
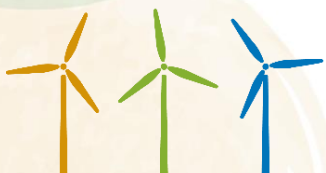
情報発信・推進の仕組み

西尾市は、より良い社会の実現を目指し、市民や企業など、多様な主体と連携してSDGs 達成につながる取組を推進していきます。

SDGs 活動①

市ホームページ、SNS、広報紙などを活用した情報提供

西尾市ホームページ内に「にしおSDGs特設サイト(仮称)」を制作し、情報発信・PRを行います。併せて、SNSを積極的に活用するほか、広報紙を活用し、SDGsについてわかりやすく解説したり、企業などの具体的な取組を紹介したりするなど、SDGsに対する意識を高めていきます。





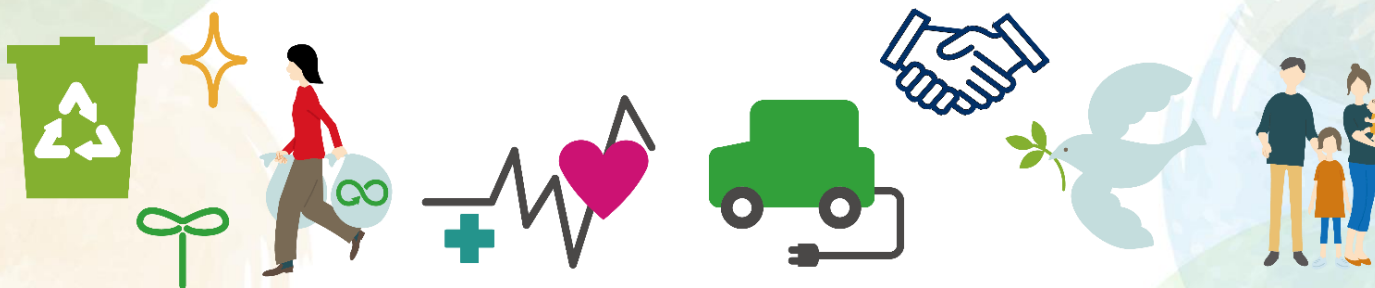
SDGs 活動②

「西尾市 SDG s 推進本部（仮称）」の設置

市長を本部長、副市長を副本部長とし、その他各部局長で構成する「西尾市 SDG s 推進本部（仮称）」を設置し、SDG s の推進を各部課の横断的な連携により全庁的に取り組む体制を構築します。「西尾市 SDG s 推進本部（仮称）」での協議・決定事項などは庁内へ周知し共有を図ります。

西尾市 SDG s 推進本部（仮称）

役割：重要施策の協議・決定
 体制：本部長（市長）
 副本部長（副市長）
 構成員（各部局長）
 事務局：総合政策部秘書政策課



SDGs のゴール・ターゲット

1 貧困をなくそう

- 1-1 1日150円以下で生活する人をゼロにしよう
- 1-2 どの、どんな貧困も、半分に減らそう
- 1-3 貧困や弱い立場にある人を守る仕組みをもっとつくりよう
- 1-4 誰もがお金を稼ぐために必要なモノや知識に手が届くように
- 1-5 社会的弱者が被る自然災害の被害や経済的・社会的打撃を減らそう
- 1-a 開発途上国の貧困に、十分な知恵や人材のサポートを
- 1-b 適正な政策枠組みをつくり、貧困を真に解決する投資を増やそう

2 飢餓をゼロに

- 2-1 誰もが毎日、安全で栄養のあるものを食べられる社会に
- 2-2 特に、幼児・女子・母親・高齢者の栄養不足を解消しよう
- 2-3 小規模食料生産者を支援して、生産性と所得を倍増させよう
- 2-4 世界中の農業を、何があっても続けられるものに変えていこう
- 2-5 遺伝子の多様性を維持し、未来の食料生産を守ろう
- 2-a 開発途上国の農業生産能力を高めるための投資を拡大しよう
- 2-b 農作物への輸出制限や補助金をなくし、公平な貿易を実現しよう
- 2-c 暮らしを安定させるために、食品価格の急激な変動をおさえよう

3 すべての人に健康と福祉を

- 3-1 妊産婦の死亡率を下げよう
- 3-2 新生児や5歳未満児の死を、もっと防ごう
- 3-3 多くの感染症を根絶し、新たな感染症を防止しよう
- 3-4 正しい生活習慣を促し、早すぎる死亡を食い止めよう
- 3-5 有害な薬物やアルコールの過剰摂取から、みんなを守ろう
- 3-6 交通事故による死傷者を、いまの半分に
- 3-7 すべての国と地域で、性や出産に関わる教育とサービスの充実を
- 3-8 ユニバーサル・ヘルス・カバレッジを達成しよう
- 3-9 環境汚染による死亡や病気を、大幅に減らそう
- 3-a すべての人をたばこの害から守る約束を、確実に実行しよう
- 3-b 開発途上国に必要な、ワクチンや医薬品の研究開発を支援しよう
- 3-c 開発途上国の保健財政や保健人材を充実させよう
- 3-d 全世界で健康リスクに早く気づき、改善できるようにしよう

4 質の高い教育をみんなに

- 4-1 すべての子どもに、無償で質の高い初等・中等教育を
- 4-2 すべての未就学児に、十分な就学前教育を
- 4-3 すべての人に、手頃で質の高い高等教育を
- 4-4 経済的な自立のために、十分な職業スキルをみんなに
- 4-5 どんな人でも平等に、教育や職業訓練を受けられるようにしよう
- 4-6 みんなが、読み・書き・計算できる世界へ
- 4-7 SDGs 達成のために、必要な知識とスキルをみんなに
- 4-a 誰もが安心して利用できる教育施設を
- 4-b 開発途上国の生徒が高等教育を受けるための奨学金をもっと
- 4-c 国際協力で、開発途上国に先生を増やそう

5 ジェンダー平等を実現しよう

- 5-1 全世界の、あらゆる形の女性差別に終止符を
- 5-2 女性に対する暴力とあらゆる形の搾取を根絶しよう
- 5-3 女性に対する理不尽で有害なきたりをなくそう
- 5-4 家事や育児を労働とみなし、家族で、社会全体で分担しよう
- 5-5 あらゆる意思決定に、男女が平等に参加できる社会へ
- 5-6 性の自己決定権を、すべての男女に
- 5-a 女性にも、経済上の平等な権利を
- 5-b ICT を活用して、女性をもっと活躍できる社会に
- 5-c ジェンダー平等を促進する政策や法律を導入しよう

6 安全な水とトイレを世界中に

- 6-1 すべての人に安全で手頃な飲み水を
- 6-2 世界中で、屋外排泄をゼロに
- 6-3 汚染を減らし、再利用を増やし、水質を改善しよう
- 6-4 安定した水の供給を確保し、水不足で悩む人を減らそう
- 6-5 水をめぐる紛争をなくし、仲良く使おう
- 6-6 水に関わるすべての生態系を保護し、回復させよう
- 6-a 水とトイレに関する開発途上国への支援を拡大しよう
- 6-b 地域の水を、地域で守れるようにしよう

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

- 7-1 手頃で品質の高い、電気・熱・ガスをみんなに
- 7-2 再生可能エネルギーの、世界的な使用率をあげよう
- 7-3 全世界で、エネルギー効率の改善率を2倍にしよう
- 7-a クリーンエネルギーに関する研究・利用・投資を促進しよう
- 7-b 開発途上国のすべての人に、エネルギーを提供できるようにしよう

8 働きがいも経済成長も

- 8-1 各国の経済成長率をキープしよう
- 8-2 多様な働き方や技術革新を通じて、経済生産性を向上させよう
- 8-3 新たなビジネスや働き方を、支援する政策を推進しよう
- 8-4 消費と生産の効率を上げ、経済成長による環境破壊をなくそう
- 8-5 すべての人に、働く喜びと正当な対価を
- 8-6 若者の雇用・教育・職業訓練を推進しよう
- 8-7 この世界から強制労働・人身売買・児童労働をなくそう
- 8-8 特に弱い立場の移住労働者に、安全・安心な労働環境を
- 8-9 雇用創出など、地域の未来につながる観光業を推進しよう
- 8-10 銀行取引・保険・金融サービスを、誰もが利用できる社会に
- 8-a 開発途上国に対する「貿易のための援助」を拡大しよう
- 8-b 全世界で、若者が働きやすい仕組みをつくろう

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

- 9-1 経済発展と豊かな生活を支える、社会インフラを整備しよう
- 9-2 誰でも参加でき、その恩恵を受けられる産業をつくろう
- 9-3 小さな企業にも、金融サービスや市場とのつながりを
- 9-4 環境に配慮した技術で、インフラや産業を改善しよう
- 9-5 技術革新のために、研究者も研究開発費も増やそう
- 9-a 特に支援の届きにくい国へ、インフラ開発の支援を
- 9-b 開発途上国でも価値ある商品をうみだすための支援を
- 9-c 世界中の、すべての人が、インターネットを使えるようにしよう

10 人や国の不平等をなくそう

- 10-1 それぞれの国で、国内の所得格差をなくそう
- 10-2 すべての国で、すべての人に、政治・経済・社会に参画する力を
- 10-3 差別的な法律・政策・慣行をなくし、機会均等を実現しよう
- 10-4 さらなる平等を実現する、財政・賃金・社会保障政策を
- 10-5 お金のズルを、世界中で厳しく取り締まろう
- 10-6 国際的な金融・経済政策に、もっと開発途上国の意見を
- 10-7 移民や難民を、国と国とが連携して支えよう
- 10-a 開発途上国に優しい貿易を
- 10-b 支援を必要とする国々に、積極的な開発援助と資金を
- 10-c 移民の送金コストを3%未満に引き下げよう

11 住み続けられるまちづくりを

- 11-1 スラムを減らし、安全で快適な家と暮らしをすべての人に
- 11-2 誰もがどこでも行けるように、安全で手頃な公共交通機関を
- 11-3 あらゆる住人とその未来を見据えた、計画的な都市開発を
- 11-4 文化遺産や自然遺産をみんなで作って守り、後世に残そう
- 11-5 自然災害による人や経済の損失を、できるだけ小さく
- 11-6 都市がもたらす環境への悪影響を最小限にしよう
- 11-7 すべての人に、安心して利用できる緑地や公共スペースを
- 11-a 国と地域が連携して、都市・郊外・農村のつながりを強化しよう
- 11-b あらゆるレベルで、総合的な災害リスク管理を実施しよう
- 11-c 後発開発途上国が、地元の資材で建物をつくるための支援を

12 つくる責任つかう責任

- 12-1 「持続可能な消費と生産に関する10年計画枠組み」を実行しよう
- 12-2 限りある天然資源を、できるだけ使わずに済むようにしよう
- 12-3 一人あたりの食品廃棄を半分に減らそう
- 12-4 化学物質や有害廃棄物の放出を大幅に減らそう
- 12-5 廃棄物の発生を、3Rで大幅に減らそう
- 12-6 大企業は率先して、サステナブルな取組と発信を
- 12-7 まずは国から、みんなのお手本となる買い物の仕方を
- 12-8 持続可能なライフスタイルがどんなものか、みんなを理解しよう
- 12-a これらの取組を開発途上国が実践できるように支援しよう
- 12-b 観光業の地域への貢献度を、見える化する手法を開発しよう
- 12-c 無駄な消費につながる、非効率な補助金はなくしていこう

13 気候変動に具体的な対策を

- 13-1 自然災害に対する対応力と回復力を高めよう
- 13-2 気候変動対策を、国の政策や計画に落とし込もう
- 13-3 気候変動に対する、正しい知識と対応能力をみんなに
- 13-a できるだけ早く「緑の気候基金」の本格的な運用を
- 13-b 気候変動対策で、誰も置き去りにしない仕組みを

14 海の豊かさを守ろう

- 14-1 海へ流れるゴミを減らし、これ以上の海洋汚染を防ごう
- 14-2 海の生態系を保護し、自然の回復力を取り戻そう
- 14-3 CO₂を減らし、海の酸化を食い止めよう
- 14-4 乱獲をやめて、漁業の未来を守ろう
- 14-5 海の生物を育む、沿岸部を守ろう
- 14-6 乱獲につながる補助金を廃止しよう
- 14-7 海とともに生きる小さな鳥や国の未来を守ろう
- 14-a 海の豊かさと、それを守る技術を、世界でシェアしよう
- 14-b 小規模な漁師の市場への参入をサポートしよう
- 14-c 国際法で海洋資源を守りながら、海を利用しよう

15 陸の豊かさも守ろう

- 15-1 森や野原、川や湖の生態系を保全し、回復させよう
- 15-2 森林の劣化と減少を止め、豊かな森を未来に
- 15-3 砂漠化を食い止め、劣化した土地を回復させよう
- 15-4 めぐみゆたかな山の生態系を守ろう
- 15-5 多様な生物とその住処を保護し、絶滅の危機から救おう
- 15-6 生物の遺伝子がもたらす利益を、公平に分け合おう
- 15-7 密漁や違法取引を、そろそろ撲滅しよう
- 15-8 外来種の侵入を防ぎ、地域の生態系を守ろう
- 15-9 生物多様性と豊かな生態系を維持し、私たちの暮らしに役立てよう
- 15-a 生物多様性と生態系を守るための資金を、もっと調達しよう
- 15-b 開発途上国の森林を守るために、十分なインセンティブを
- 15-c 密漁や違法取引に手を染めずに生活できるようにサポートしよう

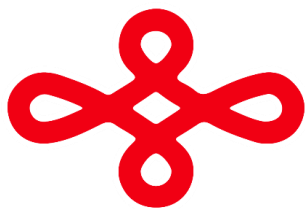
16 平和と公正をすべての人に

- 16-1 地球上からあらゆる暴力と、暴力による死をなくそう
- 16-2 子どもに対する暴力・虐待・搾取・人身売買・拷問をなくそう
- 16-3 すべての人が法によって平等に守られる社会に
- 16-4 お金や武器の違法取引を減らし、犯罪集団を駆逐しよう
- 16-5 汚職や賄賂を大幅に減らそう
- 16-6 正しく機能し、正しい情報を発信する公共機関へ
- 16-7 誰もが意思決定に参加できる社会へ
- 16-8 開発途上国が、もっと意見を言える世界や
- 16-9 すべての人に、身分証明書を
- 16-10 一定のルールのもとで、誰もが必要な情報にアクセスできるように
- 16-a 世界中が協力して、暴力・テロ・犯罪に立ち向かおう
- 16-b 差別のない世界を、そのための法律や政策を

17 パートナーシップで目標を達成しよう

- 17-1 開発途上国を支援し、すべての国の財政力を上げよう
- 17-2 先進国はODAに関する公約を実施しよう
- 17-3 開発途上国を支援するための資金源をもっと増やそう
- 17-4 開発途上国が借金を返せるように支援しよう
- 17-5 後発開発途上国にお金が集まるしくみをつくろう
- 17-6 科学技術やその知識を、抱え込まずに共有しよう
- 17-7 開発途上国に、環境破壊せずに発展できる技術を
- 17-8 ICTを活用して、後発開発途上国の科学技術を強化しよう
- 17-9 SDGs 達成のために、効果的な支援を開発途上国に
- 17-10 WTOのもとで、公平で開かれた貿易体制を
- 17-11 開発途上国による輸出を大幅に増やそう
- 17-12 後発開発途上国による輸出に、優遇措置を設けよう
- 17-13 すべての国が協力して、世界経済を安定させよう
- 17-14 SDGs 達成のために、一貫性のある政策を
- 17-15 SDGs 達成のために、国ごとのやり方を尊重しよう
- 17-16 多種多様なパートナーシップで、SDGs を推進しよう
- 17-17 その際、最も効果的なパートナーシップを見つけ、推進しよう
- 17-18 開発途上国の状況をデータで把握できるように支援しよう
- 17-19 人類の進歩を測定できる、GDP以外の尺度を開発しよう

(ターゲット訳出典)SDGs169 ターゲットアイコン日本版制作委員会



西尾市
Nishio City

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

西尾市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

